

鳥井廣吉水彩額絵

24 晩夏

植物画 5 彩

畏友中村就一画伯から贈られたベニバナの種
が、わが庭で育って見事に花を付けた。染物に
使われるというが、成程、手に染まる程の赤さ
になって、暫らく狭庭の彩りになってくれた。

267、ベニバナ (Carthamus) 紅花 末摘花
紅の花枯れし赤さはもうあせず 加藤知世子

268、ワレモコウ (Sanguisorba) 吾亦紅
吾亦紅すすきかるかや秋草のさびしき極み君におくらむ 若山牧水

269、ハツユキソウ (Euphorbia marginata) 初雪草

270、ナシ (Pyrus) 梨
ひとり居の腋下さむざむ梨食えり 森川暁水

271、トウガン (Benincasa) 冬瓜 かもうり
冬瓜に湖より雨の移り来て 渡邊夏紀

[注] 各絵に付した番号は、小生植物画額絵への通し番号です。

平成 24(12)年 9月